

授業科目名	リハビリテーション論			担当教員	千原 明美
開講年次	3年前期	セメスター	5	時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	多様に展開されているリハビリテーションを保健・医療・福祉の視点から理解する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーションの概念、リハビリテーション看護の概念について理解できる。 2. リハビリテーションを必要とする人の特徴について理解できる。 3. 経過別・障害機能別リハビリテーションについて理解できる。 4. リハビリテーション・チームにおける看護師の役割と多職種連携について理解できる。 				
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
1	ガイダンス、リハビリテーション概論、リハビリテーション看護概論	講義	予習:テキストP12～P58を読んでくる。	1時間	千原
2	運動器系障害を持つ人のリハビリテーション看護	講義 演習	予習:テキストP92～P101を読んでくる 復習:指示した課題	各 1時間	千原
3	循環器系障害をもつ人のリハビリテーション看護	講義 演習	予習:テキストP84～P91まで読んでくる。 復習:指示した課題	各 1時間	千原
4	呼吸器系障害をもつ人のリハビリテーション看護	講義 演習	予習:テキストP78～P83まで読んでくる。 復習:指示した課題	各 1時間	千原
5	中枢神経系障害をもつ人のリハビリテーション看護	講義 演習	予習:テキストP129～P138を読んでくる。 復習:指示した課題	各 1時間	千原
6	感覚器系障害をもつ人のリハビリテーション看護	講義 演習	予習:テキストP139～P159を読んでくる。 復習:指示した課題	各 1時間	千原
7	チームアプローチと看護の役割	講義	予習:テキストP60～P76を読んでくる。	1時間	ゲスト スピーカー
8	リハビリテーション看護のまとめ 課題・試験のフィードバック	講義	予習:指示した課題に取り組む	1時間	千原

先行履修科目	2年後期までに履修すべき全ての科目				
テキスト	奥宮暁子 他 編集：ナーシンググラフィカ 成人看護学⑤リハビリテーション看護. メディカ出版, 2017.				
参考文献	酒井郁子 金城利雄 編集：リハビリテーション看護 障害をもつ人の可能性とともに歩む. 南江堂, 2015. 武田宜子 他：系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護. 医学書院, 2015.				
メッセージ	ガイダンスおよび各講義終了時に、課題について指示を行います。かなり幅広い内容を学んでもらいますので、既習の知識が重要になりますので積極的に学修して下さい。				
科目の位置づけ	リハビリテーションを必要とする人は様々で、障害別・経過別・日常生活行動・社会参加など幅広く考慮しながら、療養者の QOL の維持・向上を目的に多職種連携で実践することが必要となります。 本科目はその概論・実践についてを保健・医療・福祉の視点から理解し、今後看護展開の中で活かすことができるように基本的知識を修得することを目指します。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	◎		○		
評価方法	課題 40%, 試験 60%				